

2020年10月28日

各 位

会 社 名 株式会社K i p s
代表者名 代表取締役 國本 行彦
(コード：9465 TOKYO PRO Market)
問合せ先 取締役 林 高史
TEL 03-4590-6605
URL <http://www.kips.co.jp/>

当社の保有する投資先企業の株式売却及び投資損失引当金戻入の計上に関するお知らせ

当社の保有する営業投資有価証券を一部売却したことにより、2020年12月期連結会計年度（2020年1月1日～2020年12月31日）において、営業投資有価証券売上高及び投資損失引当金戻入を計上することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業投資有価証券売上高の計上について

当連結会計期間（2020年1月1日～2020年12月31日）において、当社の保有する営業投資有価証券の一部売却により、連結財務諸表上で50,000千円を営業投資有価証券売上高に計上します。これにより、売上総利益、営業利益、経常利益、税金等調整前当期純利益、親会社に帰属する当期純利益に及ぼす影響額は46,932千円であります。

2. 投資損失引当金の戻入の計上について

当社は、2020年2月10日付け適時開示「投資損失引当金の計上及び2019年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、営業投資有価証券を保有する先の財政状態及び業績状況を勘案し、個別決算において売上原価として投資損失引当金13,526千円を計上しておりましたが、今般、1に記載しましたとおり、当該営業投資有価証券を一部売却することとなったため、個別決算において投資損失引当金戻入額12,296千円を計上することにいたしました。

3. 今後の見通し

当社グループの事業は、ベンチャーファイナンス事業及びイベント・メディア事業から構成されております。イベント・メディア事業の売上は、イベントの業務受託回数や広告収入の動向など比較的予測が立ちやすい要因で構成される一方、ベンチャーファイナンス事業の売上は、売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、連結業績予想は未定としております。本件を含め、今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

以 上